



士別翔雲高校だより

学校通信 第114号 令和元年 5月31日(金) 発行 校訓「一歩前へ」

野球部、春の高校野球 名寄支部大会で三年連続優勝

三学年、進路実現に向けて始動！



第58回春季北海道高校野球大会名寄支部予選が士別心どう球場において、5月16日に開幕した。大会は8校8チームが出場し熱戦が繰り広げられた。

初戦は、名寄と対戦し7回コールド勝ちとなった。準決勝は、ライバル校の稚内大谷と対戦した。1回表から4回表まで両者譲らず無失点だったが、4回裏でピッチャー伊藤君がライト、ライト徳田君に代わり加藤君がピッチャーに入り、少し高めめのピッチングで稚内大谷に4点の先制点を許してしまった。5回表は伊藤君、大橋君がファールで出塁し、加藤君の送りバントで2塁、3塁に進んだ。続いて田中君のレフト犠牲フライで伊藤君がホームに還り、1点返すことに成功。6回表では高橋君のセンター前ヒット、石川君のレフト前ヒットで1塁、2塁に進み、池澤君の二塁打でホームに還り2点追加。佐々木君のセカンド内野安打で池澤君がホームに還ろうとしたが、セカンドがサードに投げ挟まれた。しかし、サードの送球エラーにより3塁に戻る事ができ、その間に佐々木君が出塁。続いて伊藤君が二塁打を打ち、池澤君と佐々木君がホームに還り2点追加。大橋君はレフト前ヒットで出塁し、伊藤君が3塁に進んだが、加藤君のショートゴロで大橋君がアウト。続く田中君の送りバントで伊藤君がホームに還り、更に1点取り返し、6-4と逆転した。8回表で加藤君がボールに続く2球目でインコース高めめのホームランを打ち、7-4となった。その後、9回裏まで無失点で抑えた結果、7-4で稚内大谷に勝利した。

決勝は天塩と対戦した。2回表で大橋君が二塁打を打ち、前多君のセカンドゴロで3塁へ、続く田中君のセンター前ヒットでホームに還り先制点を挙げた。3回表では池澤君がセンターヒットを打ち、送球エラーで2塁に進み、佐々木君がデッドボールで出塁した。伊藤君はセカンドフライでアウトになったが、大橋君がレフト前ヒットを打ち、池澤君がホームに還った。続く前多君がセンターフライでアウトになるが、田中君のレフト前ヒットで佐々木君がホームに還り、渡辺君もレフト前ヒットを打ち満塁。高橋君がライト前ヒットを打ち、大橋君、田中君がホームに還り4点追加された。5回表は前多君がショートゴロでアウトになり、田中君がデッドボール出塁。渡辺君のライト前ヒットで1塁、2塁に進み、高橋君がセカンドゴロでアウト。続く石川君がレフト前ヒットを打ち、田中君と渡辺君がホームに還り2点追加。石川君が盗塁し2塁へ、池澤君がファールで出塁し、佐々木君の二塁打で石川君と池澤君がホームに還り、更に2点追加。続く伊藤君のレフト前ヒットで佐々木君がホームに還った。大橋君は相手のエラーで出塁し、前多君が9球目まで粘った末に、センター前ヒットを打ち、伊藤君と大橋君がホームに還った。相手のエラーで前多君もホームに還り3点追加され、13-0となった。5回裏を無失点で抑え、13-0で天塩に5回コールド勝ちし、全道進出を決めた。(執筆者 采女 静琉 士別翔雲高校新聞局発行『翔雲PLUS』より)

5月14日(火)、三学年進路ガイダンスが行われました。年度当初より各種模擬試験や名寄で行われた進学説明会など進路実現に向けて準備をしてきた三年生ですが、今回のガイダンスでは進路別、分野別に分かれ、それぞれの講師から昨今の現状や受験への心構えなどの話を受けました。また、同日放課後に三学年保護者進路説明会も行われました。受験までのスケジュールや推薦入試の種類や基準、昨年度の進路実績について説明がありました。

今年度は進路指導部からの進路通信『翔雲 Navi.』が発行されています。その中に『最上級学年の三年生として、翔雲生として、自覚や責任を持って生活するのが当たりまえ。先生たちは、頑張っている人が報われる進路指導をする。』と担当の先生の言葉がありました。そのせいか日々の授業の様子からも目標に向かってがんばっている様子がうかがえます。6月には一・二学年対象に職業人講話が予定されています。



教育実習生が来ました

5月7日（火）より本校卒業生の中村 将^{なかむら しょう}実習生（商業）、佐山 知^{さやま ち}実習生（保健体育）が教育実習に来ました。研究授業では今までの経験を活かし、教育実習の集大成となる授業を行っていました。実習を通して中村実習生は「沢山の先生方にご指導をいただき、実りある実習をさせていただくことができました。2週間を通して『伝えることの難しさ』『子どもとの関わり方の大切さ』『人との繋がり大切さ』を学ぶことができました。」、佐山実習生は「今回の実習では『自分なりに伝える』『コミュニケーションの取り方』の難しさを改めて実感しました。同時に先生方、生徒達と一緒に生活することで『学校』という場所の素晴らしさ、楽しさを感じることができました。3週間、本当にありがとうございました」と実習の成果と感想を述べていました。

1 学年宿泊研修



4月14日（日）より2泊3日で宿泊研修が行われました。今年度は日高青少年自然の家で行われました。当日はあいにくの天気でしたが、コミュニケーショントレーニングから始まり、ノースマホデーや各講話の他に、野外炊飯や同時に施設利用をしていた浦河高校との校歌交流など例年になくプログラムで実施することができました。



《生徒達の感想》

- ・入学してすぐだったのにも関わらず、クラスの人と楽しく過ごす事が出来た。ノースマホデーを行ったのが良かったと思う。LINEとかで会話するより面と向かって話した方が、話がはずんで面白かった。またスマホの便利さも教わった。
- ・班行動や自分の係を忘れずに行うことができました。しかし5分前行動に間に合わなかったり、合唱の音が小さいと良くない点もありました。これから良い点は伸ばし、良くない点はこれからの生活で直していこうと思います。
- ・野外炊飯が楽しく、印象的だった。雨が降っていて寒かったけれど、カレーを作っている時は寒さを忘れるくらい楽しく良い思い出になった。

6月の行事予定

- 1日（土）土曜授業 英検①一次
- 3日（月）前期中間考査（～6日）
- 6日（木）身だしなみ指導
- 8日（土）総合学力マーク模試（3年）
- 9日（日）道看模試（3年）
公務員模試（3年）
- 11日（火）教科科目選択カンパニオン（1年）
図書館バス
- 12日（水）避難訓練 職員会議
- 13日（木）教科科目選択カンパニオン（2年）
- 14日（金）列車添乗指導
- 15日（土）小論文模試（3年）
- 16日（日）全商珠算・電卓実務検定 漢字検定①
- 17日（月）翔雲祭結団式
- 18日（火）職業人講話（1・2年）
- 23日（日）全商簿記実務検定
- 30日（日）全商簿記実務検定 英検①二次



翔雲祭のお知らせ

7月5日～翔雲祭を実施します。6月中旬より順次準備が始まります。生徒の動きが活発になりますがご了承ください。詳細は次号でお知らせします。

この通信は皆様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただいております。

阿部新聞店様、道新平中販売所様、鈴木販売所様、阿部新聞店（上士別）様

〈発行者〉北海道士別翔雲高等学校 担当：総務部 〈電話〉0165-23-2908 〈FAX〉0165-23-2911

〈ホームページ〉<http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>

〈E-mail〉s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

※上記のホームページでカラー版をご覧ください。

